

砂町文化センターニュース

vol.47

春の講座 受講生募集

春だから始める、春だから見つける♪



- 鑑賞 教養 和の空間 日本庭園を楽しむ
- 文学 歴史 源氏物語の創造
- 地域理解 散策 東京まちなか超低山さんぽ
- 鑑賞 教養 わくわく！！城講座
- 国際理解 語学 世界遺産の魅力を探る ～アメリカ大陸編～
- 子ども 親子 こどもとアート ～親子で造形コミュニケーション～

ほかにも講座いろいろあります。詳細は財団広報紙「カルチャーナビKOTO」3月号や財団ウェブサイトをチェック！

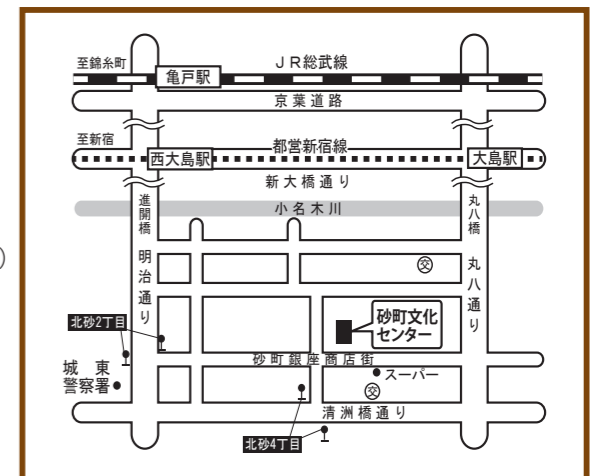


公益財団法人
江東区文化コミュニティ財団
砂町文化センター

TEL 03-3640-1751
FAX 03-5606-5930

〒136-0073 江東区北砂5-1-7
休館日 毎月第1・3月曜日(ただし祝日の場合は開館)
ホームページ <https://www.kcf.or.jp>

ご来館は
都営バスで！
亀戸駅(亀29)「なぎさニュータウン」行
錦糸町駅(都07)「門前仲町」行
西大島駅(亀29・都07)系統全て
東陽町駅(都07)「錦糸町駅」行
いずれも「北砂2丁目」下車 徒歩8分



波記 念館 だより

第四七号

江東区ゆかりの
俳人・石田波郷
や、文化セン
ターの俳句に関
するイベントな
どをご紹介します。
情報紙です。

石田波郷記念

「はこべら」俳句大会 受賞作品決定！

昭和の俳壇をリードした石田波郷は、昭和二十一年から十二年間現在の江東区北砂に暮らしました。戦後の焼け野原で、困難の中生き抜く人々や復興していく街の様子を「焦土諷詠(しよどぶふうえい)」として多くの句を詠みました。

波郷が「第二の故郷」と愛した砂町の地で、開催される俳句大会。今回で十九回を迎え、全国より三百二十三名・六百四十六句の応募をいただきました。

はこべら賞

「悲母鈔」のその二十二句冬ともし

松田 美奈

石田波郷記念館賞

曼珠沙華東西南北皆浄土

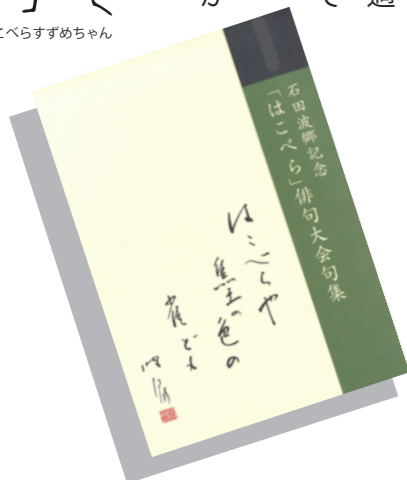
今関 十三里

「はこべら」俳句大会の入選
作含む全応募作品を句集にし
て販売しています。また、過
去の大会の句集は、記念館で
ご覧いただけます。

たくさんのご応募、ありが
とございました！



はこべらずめちゃん



開催しました

2020
2/9
(日)

成果発表会

砂町文化センターを利用して活動している14団体が、日ごろの成果を舞台発表しました。一生懸命な演奏や踊りに大きな拍手が送られていました。どの団体の発表もとても素敵でした！



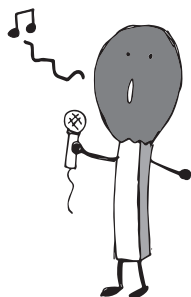
▲民族楽器を演奏するサークルも



▲華麗な衣装で踊るフラダンスサークル



▲かわいらしいこどものバレエ



2020
2/12
(水)

砂町文化亭 柳家小里ん・柳家小三治 二人会

「チケット発売はいつから？」と発売前から問い合わせがあるほど、多くの方が楽しみにしている落語会「砂町文化亭」。当日は、研修室がほぼ満員になりました。



▲舞台から客席を見ると…



柳家小里ん「三人旅」の後に柳家小三治が登場。演目は「千早振る(ちはやふる)」。人間国宝の小三治の噺に観客の笑いが絶えませんでした。「感動した」「来年も聴きたい」とのお声が多数よせられました。

2020年度 砂町文化センター 春の講座



俳句鑑賞講座

小林一茶

「あるがまま」の生き方 苦難の時代を乗り越える

受講生
募集中!

日常のできごとを平易な言葉で詠んだ小林一茶。その軽やかな句の印象とは裏腹に、家族との軋轢、幼き子や妻の死など苦難の人生を歩んでいたのです。

一茶が辿り着いた「あるがまま」の境地を、一茶の俳句と当時の時代背景から学びます。

■日程 6/22(月)、6/29(月)、7/13(月)
※変更する場合がございます

■時間 19:00~20:30

■回数 全3回

■会場 砂町文化センター 第1会議室

■定員 25人

■受講料 3,500円(全3回分)

■教材費 100円(全3回分)



講師著書

講師：俳句結社「古志」主宰 大谷弘至

2011年に長谷川權より「古志」を引き継ぎ、主宰となる。小林一茶および幕末・明治の俳諧を研究。

句集に『大旦』(角川学芸出版)、『蕾』(花神社)、著書に『小林一茶』(ビギナーズ・クラシックス日本の古典、角川ソフィア文庫)。

主催／公益財団法人江東区文化コミュニティ財団

【お申し込み・お問い合わせ】 江東区砂町文化センター

〒136-0073 江東区北砂5-1-7

TEL:03-3640-1751 FAX:03-5606-5930